KobeUniversity secondary

Beyond KUSS , 2025 !!

共通テスト模試自己採点状況

音楽祭、おつかれさまでした。11 回生にとって記憶に残る音楽祭になったでしょうか。後輩たちに「あこがれの先輩」の姿を見せることができたでしょうか。さて、10 月末～11 月 1 日(金)にかけて実施した共通テスト模試の自己採点状況を下表のとおりまとめました。

省略

自己採点は自身の現状を早く把握し、次への準備をするために実施しています。また、進路課がこのような度数分布の様子を公開するのは、現状把握の資料とするためです。

6 月模試のデータは自己採点状況ではなく、採点結果に基づいています。数学と英語については、全国平均より本校の平均が 60%以上も上回っています。6 月段階で上回り率が 30%未満の科目もありますが、今回の状況はわかりません。ほとんどの教科・科目の平均は前回を上回っています。また、1000 点満点の平均も前回より 50 点以上上回り、今回は 700 点を超えています。各科目で少し「理解正解」が増えれば、800 点を超える可能性があります。11 回生の学習の成果があらわれていることは間違いありません。

しかし、これはあくまでも平均値ですから、個々の生徒の状況は、順調に進んでいる場合もあれば、深刻な状況に向かっている場合もあります。共通テスト模試は、自己採点を正確に行うことにより、現状分析が比較的可能です。「理解正解」よりも「偶然正解」や「不安正解」が多い場合、得点がそこそこであっても不安定な状況であり、対応が必要です。

共通テスト、センター試験の頃と比較すると難化傾向にあります。得点できる受験生と対応できない受験生に二極化しています。本校は得点できる生徒が多い学校ですが、油断禁物です。個別学力検査に向けての準備と同様に共通テストに向けての準備は必要です。

共通テストまで残り約 2 か月、「今できることを取り組む」の気持ちをもち、体調管理に留意し、日々の学習に取り組みましょう。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>
『Beyond KUSS , 2025 !』など進路課が発信する情報の一部を HP に掲載しています。